Mute ppos

Fight Forty Friend Fifty Super Sixty
All for One One for all

Muteppos Since2002

ムテッポーズ10年誌

update

もっと未来へ、ムテッポーズ。

2011年10月30日、ムテッポーズは、
東日本大震災を乗り越えて、前へ向かう
仙台ゆうわくクラブと対戦しました。
4回目となる定期戦、熱く戦い、
ノーサイド後は、ともに飲み、
語り合いました。思えば、この10年間、
数多くのチームと、そんな友情を
ぶつけ合ってきました。
そして、いつも、ともに戦う仲間がいました。

無鉄砲な夢を、いつまでも。

2002年4月に創部したムテッポーズ。多くの部員とともに
楕円球を追いかけ、酒を汲み交わし、数々の不惑チームと対戦交流し、
この2011年、創部10年を迎えました。
「単身赴任のオアシス」などの評判も広がり、
部員の繋がりだけでなく、ホームページやブログを見て入部する人も増え、
背番号は90番を超えて、まもなく100番に届く勢いです。
グラウンドでの闘志は、さらに激しく。友情はさらに強く。
20年、30年、40年、50年に向けての通過点、証しとして、
ムテッポーズ10年誌を制作いたしました。

ラグビーは、少年を大人に成長させるスポーツ。
大人が少年の気持ちを抱き続けられるスポーツ。
白パン、紺パン、赤パン、黄パンツ。
それぞれのピッチで輝くムテッポーズを目指して、
今日から、また、新しい歴史が始まります。

監督　島雄節彦

ムテッポウスが創部以来、10年経ったかと思うと感無量です。
これもひとえに献身的なスタッフの方々の努力に依る処と思います。
いつも思いますがクラブチームが存続するための三要素は、
1.献身的なスタッフの存在　2.　グランドの確保　3.　部員の新陳代謝
です。今や、ムテッポウスはこの三要素が揃い、
これからも益々、継続、発展して行くことを祈念いたします。

主将（第6代）　芦辺多津治

これまで、ムテッポーズを創ってこられた諸先輩方に心より感謝申し上げます。創部10年を迎えたムテッポーズの主将に誇りを感じつつ、毎週末メンバーとともに楽しく汗を流しています。今年は”野蛮”をスローガンに掲げ、「紳士がやる野蛮なスポーツ」を極めたチーム作りを目標としています。グラウンド外では「騒音まきちらし不良中年団」という創部以来の伝統を頑なに守りつつ、赤＋黄パンでの1チーム編成を目指し、これからもムテッポーズを盛り上げていきたいと思います。

副将　白井雅幸

創部10年企画実行委員長、第3代主将

記念すべき創部10年目を多くの仲間と共に迎えることができたことを誇りに思います。また、私たちムテッポーズのこれまでの活動を支えてくれた多くの方々に感謝申し上げます。プレーヤーとして、そして人生経験も異なるメンバーが、一つのチームとして10年間活動することができたのは、私たちがこよなくラグビーを愛し、そしてチームスピリットを常に尊重して実践してきたことにあるといえます。シニアチームとしての歴史は、まだまだ浅い私たちですが、これからも創部当時の精神を忘れることなく、ラグビーを愛し、新たな歴史を刻んでいきたいと考えています。

無鉄砲へ、祝辞多数。

**ムテッポーズは、年間10試合を目標に対戦していますが、
創部10年に寄せて、いくつか祝辞を頂戴しましたので、
対戦の経緯などとともにご紹介させていただきます。**

仙台ゆうわくクラブ様

親愛なるムテッポーズの皆さん、10周年おめでとうございます！
■ムテッポーズとの思い出・・やはり坂崎さんと出会ったことがきっかけで仙台まで遠征してくれたってのはすごいいいチームだと思います。
■ムテッポーズのいい所・・そんな遠征に大人数でまとまって来ていただけるところ。今年は関西から参加されてた方もいたようでビックリです。飲みのまとまりも大変いいみたいですし。
■ムテッポーズへの提言・・仙台に来てもらってばかりで本当に申し訳ありませんが是非また来て下さい。芝生のグランドと試合後の飲み会は万全の用意をしておきます。

2008年、仕事で仙台を訪れた坂崎主将（当時）がグラウンドに出向き、日下さんという名スタンドオフと意気投合したのが、対戦のキカッケです。

仙台ゆうわくクラブ様とは、2008年から定期戦をスタート。毎年10月の第1週の日曜日に対戦しています。前日入りして、国分町で英気を養って試合に臨みますが、高橋薫選手の「牛タンの呪いをこえて根性のトライ事件」など、例年、思い出が残る遠征となります。今年は、震災の影響もあり10月30日の対戦となりました。試合前には正統ハカを行ない、復興への気持ちを表しました。
対戦は、残念ながら4連敗。

川越ファイターズ様

川越ファイターズ様との定期戦も、今年で4回目。川越の田辺会長とムテッポーズの堂下選手が、信州大学ラグビー部の先輩後輩という繋がりからスタートしました。
例年11月に、入間川の河川敷グラウンドで、対戦し、寒さに負けずに土手でファンクションを行ないます。戦績は、4連敗ですが、今年は、かなり手応えを感じ、芦辺主将が、「差が詰まってきたので来年は勝ちます」と宣言し、勇んで帰ってきました。川越の皆さんの「なにぃ」という表情がとても印象的でした（笑）。

ムテッポーズのみなさま、創部10周年おめでとうございます。
10年ひと昔といいますが、今の世の中のめまぐるしい変化を考えるとふた昔くらいになるのではないでしょうか？
ラグビースタールも変わりました。セットスクラムでのフォーメーションこそ変わりませんが、ラック・モール形成にバックスも加わることとなり、その半面フォワードがバックスラインに入るというスタイルが現在のラグビーです。価値観が多様化し大学や高校のラグビー人口が減少するなかで、創部10周年を迎えられたのは、ムテッポーズのみなさんのラグビーにかける熱い志の持続があってのことではないでしょうか？
大学の1年後輩の堂下さんから声をかけていただいたことがきっかけとなり、ここ2～3年毎年11月に交流戦をやらせてもらっています。川越ファイターズが10年ほど交流戦を続けている栃惑プレジデンツとムテッポーズさんが交流していることを最近知り、ムテッポーズのみなさんがいろいろなチャンネルを持っていることに感心しました。
我々川越ファイターズ（シニア）クラブも振り返ってみると10年単位で対戦の枠組みを変えて来ました。
昭和49年（1974年）に創部し、最初の10年は、県の公式戦への参加が中心でした。その後、県内近在チームとの交流戦を10年経験し、次の10年は首都圏のクラブチームとのリーグ戦へ転換しました。そして最近の10年は、菅平高原不惑クラブラグビー交流戦や関東甲信越ラグビーフットボール不惑大会を交えながら首都圏の惑チームと交流しています。
ムテッポーズさんが今後どういう道を歩むかはムテッポーズのみなさんが選択することですが、ラグビーを長くやっている限り、同好のチームとの交流の選択肢は無限にあることでしょう！
ムテッポーズさんが創部10周年の節目を迎えるに当たり、更なる発展とムテッポーズのみなさんの活躍を願っております。創部10周年、おめでとうございます。　　川越ファイターズ（シニア）クラブ会長　田辺省一

山梨不惑様

創部10周年おめでとうございます。貴部とは3年前から定期的に交流を持たせていただき試合は元よりアフターファンクションでの戦いを毎回楽しみにしています。年々バージョンUPする「チェルシー」と正調「馬の背中に毛が生えた」での歌比べ、のみ比べ？は今後も永遠に続けて行きましょう。20周年、30周年と赤パン、黄パン同士での試合交流が出来ることを願っています。

山梨遠征は、山中湖在住のムテッポーズ篠原選手のご尽力で実現しました。
2009年は今村主将（当時）のもと、前日に合宿をはりました。その時は、「雨天花火事件」が起こり、翌日の試合前アップでは、首謀者が処罰されました（笑）。また、ムテッポーズ「バカ」を試みましたが、リードする浜田主務がこけて失敗しました。
試合は3連敗中ですが、ファンクションでは、山梨伝統の「馬の背中に手が生えた」に対して、「チェルシー」で堂々の勝負を挑んでいます。

帰りの甲府駅。
信玄公前の記念撮影は、お約束。

今村主将が率いる、前日の合宿。

川崎オジンズ様

**オジンズ加治屋さまよりコメントからコメントをいただきました。
「ムテッポーズさんとは、いつも負けたことばかりが思い浮かびますが、いつも楽しく試合させて貰っています。ムテッポーズさんは、フォワードゴリゴリのイメージが強いですが、共に黄金パンツまで目指してラグビーを楽しみましょう！
＊編集注／オジンズさんとは草創期から対戦し、連勝していましたが、2011年は、敗戦を喫しました。来年は、リベンジしますよ。**

対戦チームの皆様、今後ともよろしくお願いいたします！

**■市原不惑様とは、2010年11年と対戦し、運よく連勝しております。ただ、12月11日に今季再戦があり、気を引き締めております。
■栃惑プレジデンツ様とは、2010年に対戦し、ファンクションでも堪能させていただきました。■北総不惑様とは、草創期より定期戦を組み、五分五分の戦績です。■曼荼羅ひぐらし様とは、2010年に対戦し、大敗を喫し、いま雪辱に向け牙を研いでいます（笑）。■佐倉RFC様・鎌倉RS様とは、しばらく対戦がありませんが、今後とも、よろしくお願いいたします。**

総括 無鉄砲十年

2002年～2011年

ラグビーは15人対15人でボールを奪い、戦うスポーツです。味方がいて敵がいて、グラウンドがあって、
試合が成立します。その当たり前のことをムテッポーズは10年をかけて試行錯誤してきました。

15人を超える予定のメンバーで試合に臨んでも、結局、メンバーが足りずに、対戦相手に迷惑をかけ、
かつ悔しい思いをしたこともあります。若手の助っ人に頼ることもありましたが、そんな時期を脱却して、
オーバー40のチーム編成ができるようになり、新しい仲間も増え、大人数で練習を行うことが定着してきました。
草創期は、ムテッポーズの母体である川崎汽船ラグビー部とガマクラブ周辺の繋がりでのメンバーが
中心でしたが、徐々に、幅広い層で人が集まり、ここ数年は、ホームページでの飛び込みも増えてきています。
関西系の比率が高くなっていることや、単身赴任者の比率が高いことも、ムテッポーズの特徴と言えます。
チームには、変な人も若干いますが、これはラグビーチームに共通することでしょうか？

中村寛、中村潤、白井雅幸、坂崎孝浩、今村剛、芦辺多津治。歴代の主将は、チームの変遷の中で、
ムテッポーズのあり方を考え、それを具体化し、今日のムテッポーズの形を作ってきました。

そして、ラグビーに欠かせない仲間との交流。対戦チームとのファンクションはもちろん、練習後、試合後、
ムテッポーズのメンバーは盛り上がり、数々の事件が勃発。ラー油付き餃子混入事件、万俵界隈事件、
ビアホール隔離事件など、酒にまつわる逸話には枚挙にいとまがありません。

誌面や準備が足りないため、十分な記載とならず、走り書きとなっていることをご容赦ください。

史料・史実についてのお問合せ・ご指摘は、浜田彰大までお寄せください。
今後、史料整備に反映させていただきます。
情報・画像提供も、大歓迎です。 hamada@cent-rs.com

創部前夜、そして集結！

ムテッポーズは、2002年春に創部されたが、その源流は2001年冬、伝統の海運リーグに参戦する川崎汽船（K-LINE）ラグビー部関係者でのやり取りに遡る。リーグ戦が進んでいく中で、
「海運リーグが終わって、また来年まで何もしないのはつまらないよね」
「できれば、オーバー40でラグビーを楽しみたいね」という話が持ち上がった。
島雄節彦・下田純・村上雅彦と、村上に「ラグビーは見るスポーツに非ず。自ら球を追いかけるスポーツだ」などとそそのかされて、前年の2001年11月からラグビーを始めた浜田彰大の4人だった。
「毎週ラグビーするためには、多くのメンバーを募る必要がある。」
「K-LINEラグビー部OBだけだと、人数的にちょっと厳しい。」
そういった課題が明確になる中で、世田谷のガマクラブにも所属していた村上雅彦が、
「ガマとK-LINEのオーバー40を母体にしてチームをつくろう！」
という構想を立て、それに沿って創部の準備が進んだ。創部は、村上雅彦の着想によるところ大である。
ガマクラブを率いる池野建彦が総監督、K-LINEラグビー部を率いる島雄節彦がコミッショナー、
中村寛が初代主将となり、チームが発足した。
＊上記集合写真
（前）岩永子息・井上・岩間・福本・池野・森山・日野一七・島雄・小林経治
（中）浜田・平田・角田・中村寛・龍神・下田・白井・夜明・畦地
（後）村上雅彦・岩永・青柳・堂下・龍神知人・佐伯・？・柴原・河原・鈴木良

チーム名由来、第一戦！

鉄砲洲神社

無鉄砲な人たちのチームということで、無鉄砲ズ、ムテッポーズ、Muteppos、というネーミングだが、実は「鉄砲洲」という地名に「無」をつけて、「無鉄砲にラグビーをしよう！」という思いを託している。「鉄砲洲」は中央区湊という界隈の旧名で、いまは「鉄砲洲」という地名はない。鉄砲洲神社という小さな神社があり、ちょっと歩くと隅田川が静かに流れている。
島雄監督は商船大学の学生だったころ、寮の仲間と対岸から船を漕いで、鉄砲洲に渡って遊んだという。
なぜ「鉄砲洲」かと言えば、2002年当時、チーム設立を推進した浜田彰大と村上雅彦の会社が、「鉄砲洲」、中央区湊にあったから。その会社はゲッツといい、広告制作を営んでいたが、いまはない。合掌

さて、ムテッポーズの記念すべき第一戦は、2002年4月28日に行われた。そのころは土の東大駒場グラウンドで、旧ガマクラブ主体のムテッポーズとフィーバーズとの対戦となった。ゲームメイクは、池野総監督が担当した。ジャージが間に合わず、旧ガマクラブのグリーンのジャージを使用。池野総監督も自ら出場し奮闘したが、コンタクトプレーで頭からグラウンドに倒れ、脳震盪を起こすアクシデントがあったが、大事には至ないものの、記念すべき初戦は敗北に終わっている。

草創期から、発展期へ。

十年は決して平坦な道のりではなかったが、創部以来、文字通り、チームに君臨してきた島雄節彦現監督は、「①献身的なスタッフの存在、②グラウンドの確保、③部員の新陳代謝の3要素が揃って、今日を迎えることができた」と強調する。

初代主将の中村寛は、当初、文化の違う二つのチームを担々としたリーダーシップでまとめた。二代主将の中村潤は「出席率のよさだけで主将になった。押し付けられた」と苦笑するが、体を張ってチームを率いた。林哲也が副将として補佐した。三代主将の白井雅幸は、副将の小林敬幸とともに、温和な調整型のリーダーシップを発揮した。

そして、創部メンバーでない坂崎孝浩が四代主将に就任。これまでに囚われない発想で実行力を発揮し、野田亜功も副将として新しい風を吹き込む。坂崎がとくに力を入れたのは、オーバー40での対戦にこだわること。不惑チームとしては当然のことではあるが、若い助っ人に頼らずに戦えるチームを目指した。また、モールの基本を愚直にチームに叩き込んだことは、いまに繋がっている。

盛岡一高OBチーム
「白亜クラブ」とは、4回戦った。
一度は、ガマ主体のチームで
盛岡に遠征し、3回は、
先方が上京した。

合宿は、これまで5回行っている。
千葉の日本エアロビクスセンターで1回、
銚子の先の波崎で2回、千葉白浜で1回、
そして山梨遠征の一環で韮崎で1回。
山梨と仙台の遠征が定着しているなか、
再び、合宿の再開を望む声が根強い。
合宿以外でも、那須・山中湖での
抱腹絶倒・珍道中のミニ合宿も記憶に新しい。
誌面の制約で紹介できないのが残念。
＊写真は、波崎あおの女将を囲んでの集合写真。

中村潤主将も、
はりきってカメラ目線を
意識する？（笑）

ムテッポーズは、中村潤主将の時代に、Jスポーツの番組に登場した。
バナナマンチームとムテッポーズが、タグラグビーで対戦する設定で、
当初は、「炎のタックルマン」石塚武男さん（故人）がゲストで来る予定だったが、
結局、登場せず、ちょっとがっかりした記憶がある。

**草創期の運営を、会計とホームページなどで
支えた、日野真由美さん@サングーと綾子さん。**

混沌を乗り越えて、野蛮へ。

五代主将には、再び創部メンバーの今村剛が就く。グラウンドや怪我人などで混沌とする中、粘り強くチームをまとめるほか、「単身赴任のオアシス」的な環境づくりにも腐心した。グラウンド面では竹村一郎の労を厭わぬ対応が極めて大きかった。また、三宅啓三は副将として、激しいタックルを連発するだけでなく、数多くの新しいメンバーをチームに引き込むほか、メディアの取材でも貢献した。三宅転勤の後は、高橋薫が副将を受け、バックスをまとめた。

そして、これまでの流れを、HPを見て入部した芦辺多津治が継承・発展させる。芦辺は「ラグビーは、紳士がする野蛮なスポーツ。その原点に帰ろう」と、グラウンドでメンバーに表明し、「自分が何をすべきか」を常に考えることを求める。自らはスクラムハーフに転向し、フォワードを叱咤激励している。

ある時はコーチとして、ある時は選手として、怖いご意見番としてチームに貢献尽力した鈴木良の存在を忘れることはできない。

運営面では一貫して浜田彰大が主務を務めてきたが、「うっかり八兵衛」事例も多く、高田副務、尾崎会計が脇を固めてきた。今年度からは、チーム委員として、今村剛・宇野信行・石毛和典・小久保新史・竹村一郎・光山昌伺・石田英教が入閣し、「野蛮ムテッポーズ」体制を全力で支える。

シニアスポーツを
紹介するメディアでも
取り上げられた。
三宅副将（当時）の仕掛け。

ムテッポーズ年間MVP。
一昨年の木元選手と昨年の竹村選手。
これまで、坂崎・今村・内田・野田・芦辺・
高橋薫の各選手が受賞している。

チームに勢いを与えるタックル。
赤パン・堂下選手から勇気をいただく。

騒音まきちらし不良中年団の伝統。

今年度は、新入部員、豊作の年でもあった。メンバーの繋がり系、HPを見て系、と入部ルートにも幅が出できている。プレースタイルは時代とともに変遷すると思われるが、「騒音まきちらし不良中年団」というムテッポーズの伝統は脈々と継承される。

練習後に喉を
潤す、浅野屋。
ムテッポーズ
のクラブハウス？

ハカは、ムテッポーズの代名詞。
屋形船でも披露され、隅田川の波高し？

ムテッポーズとともに

ムテッポーズオヤジ軍団と、試合や練習、飲み会で
付き合っていただいている若手チームをご紹介します。

川崎汽船ラグビー部

伝統ある海運リーグに加盟している社会人チーム。現監督・島雄節彦、現主将・道嶋紘靖。ムテッポーズに、島雄・今村・小林・林・村上進・青柳・東・篠原・村上雅彦・大川・高山・早川・小口・齋藤・重本・相澤・岩切を輩出。また、入部はしていないが、財間・山口・堀内・坂井・小倉広・道嶋・佐久間・長壁なども参加している。毎年2月開催の海運リーグでは、OB戦も楽しみ。ムテッポーズからも選手多数が参加し、ファンクションで盛り上がる。

スーパードルフィンズ

東京都社会人3部リーグ所属の社会人チーム。現代表・一瀬幸広、現主将・児玉俊介。ムテッポーズに、宇野・石毛が正式入部したほか、一瀬・渡辺・豊永などがオーバー40として随時参加。また、歴代主将の吉村・清水・三崎・小倉敦史・河崎をはじめ、数多くのメンバーが定期的に参加している。

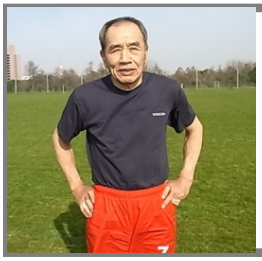
島雄監督の箴言

青年よ！いまを燃焼せよ！そして不惑の時を迎えよ！
明日は、わが身のムテッポーズ！！

ムテッポーズ選手名鑑

先ずは、無鉄砲！赤パン列伝。

チーム最年長、ますますご活躍の井上卓大先輩からお言葉を頂戴しました。



7井上卓　WTB
早稲田では、自動車部。ラグビーはガマクラブで始め、一貫してウイン グ。いつも、静かで優しい視線でチームを後輩を見守る。
■2002年入部

私とムテッポーズとの出会いは10年前、創部にあたりメンバーを募っていることを聴き、グランドに行ったのが最初でした。初めは知っているメンバーも何人か参加して、年令層も40才以上(当時56才)ということだったので、これなら何とかプレーできるだろうと思い、気楽に入部した次第です。それから10年経ち、振り返ってみればいろんなことがありました。特に新しいクラブを作るにあたり組織はどのようにするか、グランドの確保はどうするか、試合の相手をどう見つけるか、練習時のコーチ役を誰にするか等々、数えればきりがありませんでしたが、それも年を重ねるごとに固まっていき、今ではこれらの大きな課題もクリヤーでき、運営も軌道に乗って、更なる10年へのスタートがきれたのではないかと思います。私はプレーヤーとして参加しているだけでしたが、これもマネージャー役の一方ならぬ苦労のおかげ、と、部員の皆さんの協力があってできた事であり、これからもムテッポーズの活性化のため、部員のみなさんの協力を期待するところです。
練習に参加しているプレーヤーは、それぞれに目標をもってグランドにきているのですから、試合に勝つためには何をすべきか、コーチの話を良く聞き練習すべきだと思います。結論からいえば、ワン フォー オール、オール フォー ワンの精神で戦い、ゴールラインに一番近いプレーヤーがトライをするための過程の組み立てを練習することであり、そのなかでトライをするプレーヤーを早く見つけ、またそのプレーヤーになるように動くことを練習の基本としていけば、楽しいラグビーができると思います。それが結果として勝利に繋がるのではないでしょうか。
全員、それにむけて練習をして旨いビールを飲みましょう。

①デビュー戦や初練習の思い出等　②トライ　③印象に残る出来事　④インパクトのあった人物　⑤ラグビーに関する夢等

2島雄節彦　HO
一貫してチームに君臨。ボサノバ調の静かな語り口の中に、魔法や地雷のような言葉を隠す。世界の海と港を知り尽くし、逸話は数知れず。　■2002年入部

アンケートへの回答

③遠い昔し、トライした時、肋骨を2本折った、
そのトラウマが大きく、以降、トライは出来なくなった。
⑤永く継続して、ラグビーが出来る事。
現在のチームの和、良い雰囲気が永く続いて欲しい。

10下田純　SH/WTB/FB
歯に衣着せぬ、理論派・国際派万年ラガーマン。チーム創部の仕掛け人のひとり。少年時代、あの泉谷しげるをテカに従えた？という逸材。■2002年入部

②SHとして、ゴール前スクラムでプレッシャをかけ相手ボールをおさえたトライなど。
③日比谷公園での、昼間から太陽のもとでの大宴会。
④島雄さん。いまだに海外の僻地を飛び回るバイタリティーに感服。
ボールを持ってあたるときの歯を食いしばった表情は印象的。
⑤チームで天然芝グラウンドが持てたら、いいなあ・・・。

33堂下保志　FB/FL
いつもは温和な姿だが、グラウンドに立つと、ワイルドに豹変。激しくタックルが炸裂する、燃える赤パン。■2002年入部

①不惑戦で浜ちゃんにパスしそれが浜ちゃんの初トライを生んだ。
③ガマの仲間と一杯飲むつもりで飲み会と思って行ったらmuteppsの総会で即入部を決めた。
④浜田さんです。わがカミサンは、ラグビーの仲間を不良の仲間と思っていてなかなか信用が得られませんが、浜田さんだけは絶対と言うぐらい信頼しています。
⑤どこかの高校のコーチになって花園にゆく。南アフリカで暮らす。

選手名鑑　背番号順/春のアンケート回答

①デビュー戦や初練習の思い出等　②トライ　③印象に残る出来事　④インパクトのあった人物　⑤ラグビーに関する夢等

13鈴木良　SO・CTB

ラグビーの凄さ、楽しさ、怖さを最も熟知し、チームに檄を飛ばす、無敵の征夷大将軍。正統派ハカに並ぶ者なし。
■2002年入部

アンケートへの回答

①駒場東大グラウンドで行われた創部初戦に参加。
②トライ数は、わからぬ。DGは3～4本。
③浜田さん、坂崎さん、尾崎さんと行った那須高原コテージの夜。
④浜田彰大氏(マハタ・ティポキ氏)
⑤オールブラックス対ワラビーズ戦にてMtpが前座試合すること。

15岩間之義　WTB

ボールを持つや独特の走り方でギャップを突きトライを量産。不惑チームの間で注目の 的。
■2002年入部

②最近少なくなってまして年1～2回です。ゴール直前だと今でも相手を引きずってトライする自信あります。
③鈴木良さんにタックルに行ったらゴムまりのようで弾き返された。角田さんにタックル決めた時、右腕が折れる寸前だった。
⑤海外の赤パン大会でトライ量産。

16浜田彰大　FW

43歳でラグビーを始め、翌年、創部に参画。以来、主務。粘り強い反面、ツッコミどころ満載。ニックネーム多数。マハタ・ティポキ氏と親交。
■2002年入部

①エリス戦でディフェンスにいき、中村寛主将に褒められたこと。
②東京不惑戦で、堂下さんをフォローしてパスを受けてトライ。対戦相手は覚えてませんが、ゴール前でこぼれ球を拾ってトライ。
③自分が怪我して乗った救急車。鈴木良さんが怪我した時、救急車で病院に行き、その後、良さんのお宅でビールを飲み、刺身を食べ、挙句の果てに、ご飯をおかわりしたこと。うまかった。
④坂崎さん／デフの通訳で来ていたので挨拶したら、フン！てな感じで偉そうだったが、化けの皮がはがれ、実はおもろい人だった。

18白井雅幸　CTB

温和な表情の中に闘志を秘める国際派のジョニー。第3代主将。今季は副将、10年企画実行委員長としてチームに貢献する。
■2002年入部

③あまりに泥酔したメンバーが多く、門仲のお店で「強制退出」と「出禁」を食らったこと。
④デビュー戦の時にお目にかかった鴨踊りの「森山さん」、鬼コーチの「良さん」、いつも含蓄のある言葉でチームをまとめてくれる「島雄さん」、One for All, All for Oneを自ら実践してくれている「浜田さん」
⑤実現するには長い道のりかもしれませんが、チームとしてラグビーの本場の国へ遠征して試合をしてみたい。

20小林敬幸　PR

かつて、副将FWリーダーとして、チームを鼓舞。酒場では、まいう～。まもなくマニラへ赴任する。
■2002年入部

①東大・駒場グランドでの試合。
4月下旬でやたら砂埃がひどかったのが印象に残っています。
③毎年の合宿
④たくさんいて、書ききれない。
⑤秩父宮で試合すること。

22角田晃　NO8

草創期不動のエイト。敵に回したくない破壊力は健在。ピッチを離れると 心優しいツンちゃん。「いさばや巨体爆睡夜明かし事件」の主。
■2002年入部

攻守に迫力！
エイト角田、ここにあり！

23中村寛　SO

初代主将。伝説の大西鉄之助の薫陶を受け、早稲田でSO。転勤・入院などを経て復帰が待たれる。得意技 は肘鉄。放課後はつねり・握り。
■2002年入部

①以外としっかりしたメニューでの練習でしたが、もっと走るメニューを増やしたほうがいいのでは、と。
③日比谷公園での、昼間から屋外の大宴会。
④浜田さん。これだけ、皆から好かれていじられる人はいない。しかも、ラグビー歴が短い中、懸命にクラブ運営に努力している。
⑤もう一度、高校時代に戻って練習・試合に励みたい。もう少し、自分で工夫して、プレイしていれば、もっと上手くなっていたし吸収することも多かったはず。

①デビュー戦や初練習の思い出等　②トライ　③印象に残る出来事　④インパクトのあった人物　⑤ラグビーに関する夢等

24今村剛　LO

第5代主将。昨年の仙台遠征では無念の負傷。傷は癒えぬとも、チームに熱く貢献。ボールを持つと、気迫が漲り、復活は近い。
■2002年入部

アンケートへの回答

②1回ありましたか？
③モール練習の時、モールの中でゲンコツ握って待ち構えている（誰かなぁ？）のを見た時は危なかったですね。
④マハタ・ティポキさんしかいないですね。宴会になるとなぜかNZから来てしまう言語不詳人物。

30林哲也　バックス

草創期のチームで不動のSH、そして副将として活躍。クールのようでいて、実は熱血漢。鈴木良さんに「まぁ抑えて」となだめられたことも。
■2002年入部

①昔からあんまり考えてプレーしてないので記憶が蘇りません。
②試合でトライした記憶がない。
③良ちゃんがアキレス腱切った時の音
④浜ちゃん。40歳を超えてからラグビーを本格的に始めた勇気を賞賛。
⑤いつまでも楽しく、激しく。

From上海

創部10年おめでとうございます。島雄監督の不思議な統率力と浜田さんの何事にもめげない不屈のサポート精神があってのことだと思ってます。上海に来てから3年半がたち知らない方が多くなりましたが、早く日本に戻り仲間に加えてもらいたいと思っています。こちらでの生活では白酒での乾杯にはすっかり慣れ、こないだ50歳の誕生日をカラオケ店でお姉さんたちにケーキでお祝いしてもらいました。そんな堕落した生活を送っているので、体を鍛え帰国してグランドに復帰できる準備をしようと、ランニングシューズとテニスシューズを日本で買いましたが、新品状態で早1年近く保管状態が続いています。パーティーに参加できなくて残念ですが、上海に出張に来られる方がおられれば是非声をかけ、近況を教えてください。

31中村潤　FW

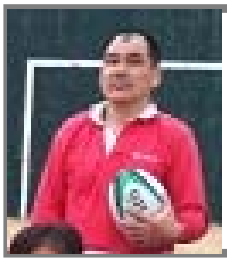
初年度の貢献により、第2代主将に抜擢される。今は空手にも熱中しているが、お早い復帰が待望される。落語に造詣が深い。
■2002年入部

①サンデーバーバリアンズ戦が初戦。
浜田さんに会って、なんて礼儀正しい人なんだろと思いました。
③MOLのグランドで浜ちゃんの眉間から椿三十郎の映画の様に、血がピューっと出たことです。
④皆さん個性が強くって誰とは言い難い・・・。
⑤トライしたいなぁ。

34村上進　CTB

数々の修羅場を踏む強力CTB。KLINE英国赴任を経て復帰。縦の突っ込みと激しいタックルでチームに勢いを吹き込む。
■2003年入部

ボールを持ったら、
ガツンといくぞ！
なぁ、青柳！！



35青柳秀夫　FW

獰猛な動きで大暴れする、天性のフォワード第3列。盟友・村上進と並ぶと、近寄り難い凄みがあたりに放たれる。
■2003年入部

①練習好きの人達だ。
②おこぼれで数回。
④浜田さん
⑤身体を鍛えて復帰。

36東直人　FW

闘志を漲らせて、ボールへ、人へ、密集へ。船乗りの血が騒ぐ。1番から15番でも、何でもこなす。夜の勢いも、半端じゃない。
■2003年入部

運動量も、酒量も、
誰にも負けんぞ！！

①デビュー戦や初練習の思い出等　②トライ　③印象に残る出来事　④インパクトのあった人物　⑤ラグビーに関する夢等

39河原伸一　FW
ペナルティからのフォワード勝負などで破壊力を発揮する、大型選手。本職はロック。遠征になると参加率が高くなる旅人ラガー？
■2003年入部

シンっ！いくぞっ！
ゴールを割るぞっ！！

41中村剛士　できるところ
デビューは、2004年合宿。「減量ビフォーアフター」「セクバラ」など、話題を提供。グラウンドでは、けっこう切れ味のあるステップをみせる。
■2004年入部

アンケートへの回答

①よたよたで走れなかった
②まだないよ。
③左脛骨骨折して聖路加国際病院にいったこと
④For All
⑤うぅ～～ん赤パンまでは、がんがる！
トライしたいです。みなさんよろしく

43坂崎孝浩PR/HO/SH/CTB
数多くの弟分や仲間をチームに注入した中興の祖。法螺吹きでもあるが、タックルは凄い。伝説の人、熊本で何を思う？
■2004年入部

①自分が初めて練習に行ったときは，デフラグビーの通訳として参加したんで一緒に練習していません。
③仙台ゆうわくさんと交流が持てるようになったこと。
④なんといっても良ちゃんでしょ。あとは生き方がまっとうそうでそうでもないマハタさんとか．．．
そうそう，島雄さんのおおらかな天然ボケは大好きです。

熊本から喝！

プレーじゃない部分、例えば部費が確実に集まるシステムを作るとか適切な相手とのマッチメイク、試合後には相手チームと必ずアフターマッチファンクションを行うなどなど。組織として強くなること。ずーっと、言ってるでしょうがぁ！！

44尾崎剛史　バックス
大学時代はワンゲル。怪我・入院に泣くも、常に「前へ」の思いを込める。いまは法曹界入りを目指して、日夜、勉学で猪突猛進中。がんばれ！！
■2004年入部

①2004年6月の川口戦。佐々木哲夫さんの紹介で来ました。いきなりトライ出来まして思い出深いです。
②2個です。③銀座ライオンで隔離されたこと他。たくさんありすぎます。④みなさんが手取り足取り教えてくださるので、感謝しています！印象はありすぎて語りきれません。
⑤いつまでも怪我なく、楕円球を追いかけられること。
つないで、つないでトライをとること。

46三宅啓三　SH/CTB
小さな体で、激しく飛び出す炎のタックラー。副将。多くの選手をチームに引き入れた功績ははかり知れない。絵もうまい。
■2004年入部

山崎・光山・武田・田口などなど。
そこから、また広がって。
これぞ、リクルーティングの神髄！

48篠原達夫　utility
山梨不惑との定期戦を始めた功労者。全ポジションOK。「ようこそ、山中湖へ」と叫び続ける。
■入部／いつの間にか

③人生最大（になるかも）のケガで、家族三人で救急車に乗ったこと。ムテッポーズで坂崎先輩に出会ったこと。
K-Lineのコーチ(?)から「君のパスには愛情が無い」と言われたこと。それから「パスに愛情」を標榜している。
⑤W杯の事前キャンプ地として、在住する山中湖地域が選ばれること。NZ移住。

①デビュー戦や初練習の思い出等　②トライ　③印象に残る出来事　④インパクトのあった人物　⑤ラグビーに関する夢等

アンケートへの回答

50野田亞功　BK/最近ロック担当

謎の色黒バックスとしてグラサン姿でピッチに現れ、勢力を伸張。副将としてチームを鼓舞。筑波の系譜を受け継ぐファイターっ！！
■2006年入部

①2006年4月23日、北総不惑戦。入部していきなり試合、しかも試合参加人数ぎりぎりの中、慣れていないSOでバンコク時代の村上親父とラインを組む。サッカンゲームキャップの気合いでシーズン初戦は10対10にて引き分け。
③2006年度MVP拝受。④浜田主務。社会人となってから楕円球遊びに馴染み、ひたむきに楕円球を追う姿。また多忙にも関わらずチームの屋台骨としての主務業、頭が下がります。

香港でも、ノッダーっ！！

「いつも心にムテッポーズ」の祝辞をいただきました。

51芦辺多津治　SH/No8

HPを見て入部し頭角を現わし、第6代主将に就任。「野蛮に」を標榜し、チームを率いる。経営する会社の事務所をグラウンド付近に移転し、野蛮度を加速する。■2006年入部

①約15年振りの試合、骨折を含めて体がボロボロになった。
②2トライ
③2006年の夏合宿（千葉 白子温泉）
④佐々木のおっちゃん。
⑤オールブラックスOB（黄パン？）とEden Parkで対戦。

53山崎陽右　FW

グラウンドでのプレーの「輝き」だけでなく、遠征には後輩（加藤選手）を巻き込み参戦。昼夜をいとわず活躍する。
■2006年入部

①三宅選手に誘われ辰巳の試合に参加しましたが、試合前の練習がしんどい、良宗公がおっかない、とは思ってました。
②ひとつ？モールでぐちゃぐちゃの中だったとおもいます。
③1年で大阪から返品されたこと。
④マハタ・ティポキさん
⑤NZクライストチャーチでオールブラックスシニアと戦うこと。

55小川邦泰　FL

香港の野田選手の繋がりで入部。練習中に大怪我をして入院した時期もあったが、完全復活へ。
■2005年入部

①鈴木さんが怖かった事、浜田さんの味方を殺すキラーパス
③野田さんのPカラでの躍動感
④鈴木さん
⑤年間のトライ王

56小関清彦　SH/SO/CTB

俊敏な動き、身体能力の高さは抜群。常にフィットネスを高め、体のケアを怠らない。敵には、まわしたくない選手のひとり。
■2005年入部

①自分が、北総不惑に所属していた時の対戦相手がムテツで、乱暴なチームだなってのが、印象ですね（笑）②ん?あまりトライをした思い出はないな?? アシストが多いかもね。③オヤジになってからラグビーを始めた、浜田さんかな。よくやってます。浜田さん、怪我が少ないよね。真面目にプレーしてないな（笑）
④キングに決まってるでしょ???（笑）⑤小生、現在50歳です。80歳までは、プレーしたいですね。息子は、高校球児なので、孫と一緒にラグビーをやって、ラグビーの会話がしたいですね。

57中村雄一　SO/CTB

同志社ラグビー出身。転勤、転職、ビジネス邁進で、すっかりご無沙汰モードだが、雄一・光山悪がきコンビ復活が待たれる。
■2005年入部

①思い出せません。②思い出せません。
③山梨遠征アフターファンクションでの『♪馬の背中に毛が生えた～♪』の大合唱
④極度Sの良さん　VS　極度Mの浜田さん
⑤生まれ変わって再度、母校でラグビーがしたい。今度はレギュラー定着目指す。そして、トップリーガー！

①デビュー戦や初練習の思い出等　②トライ　③印象に残る出来事　④インパクトのあった人物　⑤ラグビーに関する夢等

59鈴木秀幸　BK

もともとFWだが、チームではBKに邁進中。昨年の仙台では旧友・日下さん(仙台ゆうわく) に再会し、トライを奪った。石巻出身。祈復興。
■2007年入部

渾身のトライを決めた後、牛タンを食べた仙台駅で。ムテッポーズへのさらなる貢献を誓うぞ！の図。

アンケートへの回答

60内田智之　FL

ボールに対して動物的に動き、激しくジャッカル。寡黙だけどお茶目な一面も。万俵事件は迷宮入り。ウッチー、北陸で何を思う？
■2007年入部

①とにかくR. Sさんが怖かったです。(今もですが～)某熊本県人しか顔見知りがいなかったので、当時はその人だけが頼りでした。②他チーム所属時も含め、十年来無です。③清澄白川デニーズ生中19杯事件。門仲万俵ちゃりんこおばちゃん事件。(今村、中村寛氏、逮捕？深川署拘留？)ぎょうざ事件ですかねぇ。④やはりR. Sさんと言いたいところですが、実はハマダーさんですかねぇ。⑤ムテッポーズへの電撃復帰。(ウソ)息子と対決。

62宇野信行　FW/SH

海外出張が多い中、常にフィットネスを高め、全ポジションに挑む。酒場への参加率も高い。
■2007年入部

②正式に入部してからはひとつか二つ
③マハタさん救急車事件／その試合の後の飲み会に、包帯姿でマハタさんが参加し部歌の初披露を行なったこと。
④坂崎さん／初めて一緒に練習をした時にモールの練習で体験した坂崎さんの頭の固さが一番です。
④2019年に年代別world cup併催。赤パンJapanになりcapを獲得。

63石毛和典　FW

強靭なフォワード一列。痛い仕事でも労を惜しまない、寡黙なファイター。今年、めでたく2児目を 出産。もちろん奥さんが。
■2007年入部

①デビュー戦は2006年に川口の河川敷で行った試合です。まだ30代で体力・スピードがあったので関東社会人3部の試合と比べて非常に楽しめました。 ②2010年末の栃木遠征で1トライ。今年度(2011年)は2トライしています。 ④井上さんです。自分が同じ年齢になったら同じくらい動けるか？長く続けたいです。
⑤人数を増やして赤、紺、白で各1チーできるようになりたいです。

64高田仁寿　WTB/SH

多忙な副務の任務を遂行。プレーでも奮戦するが、勢い余って、さるお方から罵声を浴びることも。
■2007年入部

①初練習に参加した時、坂崎さんの目つきが、肉食動物が獲物を追いかけるようだった事。
③川越ファイターズ戦で、鈴木良さんから絶妙なラストパスを投げてもらったのに、一歩足らずノーキャッチ。その後は、ラックに巻き込まれ、敢え無く撃沈。悔しかった。
④鈴木良さん　⑤息子が、ラグビーに興味を示してくれると嬉しい。

65小久保新史　All

練習に行くと、この人の声がよく聞こえ、ラグビーへの思いは熱い。新部員への声掛けも積極的。けれど、ツッコミどころも満載。
■2008年入部

①2008年川越ファイターズ戦、坂崎さんの奮闘が凄かった。
③第1回山梨遠征の花火大会
④竹村氏、こんなところに、(夜の)番長が隠れていたとは。
⑤嫁を何とかしたい。

66堤信之　FW

堂々たる体躯と秘めた闘志は、我らがフォワードに欠かせない。鈴木秀選手の明治大学クラブチーム後輩。
■2009年入部

①初練習でないですが、2回目の練習で手指を脱臼骨折し、年齢及び衰え具合を実感したこと。
②なし
③初練習
④鈴木良さん

①デビュー戦や初練習の思い出等　②トライ　③印象に残る出来事　④インパクトのあった人物　⑤ラグビーに関する夢等

67高橋薫　SO/CTB/FB

坂崎人脈で最もキチンとした人。副将。横隔膜出血をおして出場しトライした、第 2回仙台遠征時の根性は語り草。いま、京都在住。

■2008年入部

第2回仙台遠征に向かう新幹線の車中。まさか、牛タン食って、「根性のトライ事件」が起きるとは、誰一人も知らない。

68森田晃司　No8/右FL

銀座系の繋がりで、神戸から単身赴任の時に入部したファイアーマン。ごっつい当たりで、チームに貢献したが、今は神戸。

■2008年入部

アンケートへの回答

①初練習で十年以上ぶりのダッシュをして、肉離れと膝痛を起こしました。きれいなマネージャーが印象的でした。
②最後の試合でなんとかトライをしました（もらいました）。
③坂崎選手のぶちかまし。
④坂崎選手
⑤基礎体力をなんとか取り戻し、もう一度グランドで走り回りたい。

70光山昌伺　WTB

メディア界で隠然たる力をもち、10年パーティーを仕切る。ラー油の香りを放ち、ピッチを快走する。

■2008年入部

①鈴木良さんの暴れん坊ぶりに驚きました。
②デビュー戦で初トライ
③私事では、2010年に「はじめての再婚」した事。部では、東銀座のバーで大暴れした事（ハマタさんチェルシーで乱舞）＋六本木ラーメン店、ギョーザ事件勃発（冤罪のまま2年経過）
④鈴木良さん、浜田彰大さん　⑤赤パンのヒーローになりたい。

71ヤン・チニル　FL/CTB

ラグビー部のご子息に触発され、楕円球を追い始め。海外出張で多忙な中、日々、鍛え、体を絞り、勇んでグラウンドを走り回る。

■2009年入部

①熱い男達の集まりの印象
②無し
④浜田主務／優しくて面白いいキャラクターだから（笑）
⑤いくつになっても体力の続く限りグランドに出てラグビーボールを追いかける事

72木元正人　どこでも

数々の試合、山梨遠征、仙台遠征、飲み会（すぐ寝る）で、鮮烈な印象を残す。いくつも東京で思い出づくりに勤しみ、1年で神戸に戻る。

■2009年入部

①平成21年3月7日の川崎おじんず戦がデビュー戦。まだ、周りに馴染めておらず（？）、あまり貢献できなかったことしか憶えてません。初練習では、さっかんの理路整然とした講義が印象的でした。③平成21年6月のNTT日比谷戦にて、相手にあえてぶつかっていき、不本意にも頭を切ってしまって流血。テーピングをして再出場したが、相手も相当に傷ついたということを試合後に聞き、猛反省した次第です。④いわずもがな、良さん！

73高田照之　WTB/FB

レフリーとしてチームと出会い、数々の試合で笛を吹く。その後、妙なシンパシーを抱いたのか、選手に転じて入部した。

■2009年入部

①いきなり学生相手のデビュー戦。妙にドキドキして、体が震えていました。
②2年前の川越ファイターズ戦。ゴール前に転がった、ごっつぁんトライです。
③アフターファンクションでの、鈴木良、浜田、両氏の、暴れん坊ぶりです。　④この人しか、いないでしょう。R・Sです。
⑤クラブ対抗戦での全勝、トライ王、年間MVPです。

74山之口龍士　BK

HPで入部した薩摩隼人ラガー。チームではバックスで精進。曼荼羅ひぐらし・栃惑プレ ジデンツ・市原不惑戦の糸口をみつけ、実現に尽力。

■2009年入部

②川越ファイターズ戦の後半での、ちょっとスローなトライ
③チームで一番印象に残る出来辰巳の公園での練習中に鈴木良さんが投げ僕が受け損ねたフラットな（水平）パス
④浜田さん鈴木良さんコンビ
⑤秩父宮ラグビー場のピッチにたち、1週間博多中州でのんびり飲んで、先んじた友の所へ旅立つ事

①デビュー戦や初練習の思い出等　②トライ　③印象に残る出来事　④インパクトのあった人物　⑤ラグビーに関する夢等

アンケートへの回答

75竹村一郎　FL/NO8

長崎北陽台～商船大でラグビー漬けの後にブランクもあったが、楕円球への思いに再び火がつく。夜の帳がおりると、番長になる。
■2009年入部

①SDの豊永（長崎の幼馴染）の紹介で20年ぶりに母校グランドの土を踏んだ時は感無量のあまり、目がしらが熱くなりました。
②2011年山梨不惑戦
③越中島グランドで鶴留と再開したこと
④鈴木（良）さん、ブコボ、マグマ大使、
⑤背番号と同じ75歳まで現役でいるために長生きする。

76河本陽介　FW

ムテッポーズジュニア(30代）の有力選手。新しい部署で多忙だ が、復帰が待たれる。恵まれた体躯でチームに貢献する日は近い。
■2009年入部

おい、カワモトッ！
仕事も大事やけど、
たまには顔みせんと、
あかんとちゃうかい？
（さるお方のカゲの声）

77武田良敬　WTB

神出鬼没にグラウンドに登場する、シャイな「信玄公」。仙台遠征では、盟友・三宅選手と試合後にサーフィンしたツワモノ。
■2009年入部

2年ほど前、入部させていただいたと思います。
大阪在住時に同じクラブチームにいた三宅啓三さんに誘われたものです。「信玄」とのお名前もいただきましたが、昨年春に千葉県銚子市に転勤となったこともあり、試合・練習ともなかなか出席できず申し訳ありません。息長く、ラグビーを続けていければと考えております。

78根本雅章　FL

ホームページ入部ラッシュ組のひとり。静かな雰囲気のなかに、筑波仕込みの体育会魂が宿る。
■2010年入部

①初練習からモモ裏に「ピシッ」と嫌な感覚を覚え、他のことに気が回らなかった。
④浜田さん／最初にホームページで見た墨塗りの顔があまりに印象深かった。もしかすると、あの顔に負けて入部したのかも。
⑤どんな地域にも老若男女が参加できるラグビークラブとみんなが集まれるクラブハウスがある日本にしたいなあ。

79田口創一郎　FW

三宅選手と小学校以来の盟友。アメフト経験者だが、チームでは主にFLかLOとして活躍。ボールへの果敢な反応で持ち味を発揮。
■2009年入部

①友人の三宅の紹介で、グランドと蕎麦屋に行った記憶もあり。
②2010年、栃木遠征でこぼれ球を拾って独走してトライ。
その前の敗戦試合で、ゴール前のペナルティーからのトライ。
③屋形舟
④やっぱりあの人でしょうか。
⑤以前　ニューヨークジャパンにいた時に3トライ（所謂ハットトリック）したことがあり、あれを是非再現したいです。

80重本明　FW一列

不惑には達していないが、草創期からともに戦うメンバー。明日のムテッポーズを担う逸材。
■2010年入部

①デビュー戦は、2003年の岩手遠征の時だったような。。。
②岩手遠征の時と、この間の栃木遠征の時。
③島雄さんの肋骨ひび入りながらのプレー。
④鈴木良さんと浜ちゃん。ジャイアンとのび太のような、仲の良さがうらやましい。
⑤ぜい肉を落として走れるようになりたい。海運リーグ優勝！
栃木のおらがクラブハウスがうらやましかったです。

81小林三千男　バックス

HPをみて入部。週末も忙しい中、ちいさな体で、練習に試合に、向上心を燃やす。試合に奥 さんを同伴する愛妻家。
■2010年入部

①ボールを持った時、真っ白になって周りが見えなかった。
④鈴木良さん
⑤国立か秩父宮で試合をしたい。ニュージーランド遠征。

①デビュー戦や初練習の思い出等　②トライ　③印象に残る出来事　④インパクトのあった人物　⑤ラグビーに関する夢等

アンケートへの回答

83相澤寿樹　utility

草創期から旧知の仲ですが、昨年、ついに入部。体を張った地道で愚直なプレーでチームに貢献。
■2010年入部

①デビュー戦の開始10分ぐらいに腰痛になり、でも一番若いのに途中退場するのも嫌で最後まで頑張りました。
②デビュー戦での腰痛の中、ラックからこぼれたボールを拾い敵陣22mラインぐらい？からの独走トライ！
応援に来ていた嫁＆息子は見てませんでした・・・。
③2011年初戦での肋骨骨折
④赤パンの島雄さん
⑤赤パンになるまで楽しく続けたいです！

84天野豊文　バックス

いつかは楕円球を。その思いを胸に入部。激しくタックルし、さっそく眉間を縫う。グラウンドの雑事も率先して引き受ける、期待の星。
■2011年入部

①2011年5月22日の市原不惑戦。14番で出場しましたが、宙に浮いている感じで、派手にノックオンしました
③2011年2月5日の初練習。ラグビーをしている自分が、ただただ嬉しいという1日でした。
④鈴木良さん、小久保さん
⑤早明戦に出場し2トライ（これは睡眠中にみた本当の夢）。
今後の夢はジャパンがオールブラックスに勝利すること。

85田中仁　FW

入部早々、マグマ大使の称号を授かった存在感。飲むと、めぼしい人に「グラウンドに来まへんか？」と口説き、リクルーティングに尽力する。
■2011年入部

①2010年夏、芦辺さんの紹介で20年ぶりに土と草の匂いのするグランドに復活しましたが、練習前のアップで膝の筋を伸ばしてしまい・・・ろくに練習もせずにリタイア。ようやく2011年初春に再デビューしました。③練習後の生ビールの旨さと、鈴木良さんから練習中に「マグマ大使」と命名された瞬間。④浅野屋の娘さん。
⑤別のフットボールで青春時代を過ごしたので、晩年はラグビー・フットボールで過ごす事が夢。あと、やっぱり初トライが欲しい。

86石田英教　CTB

商船ラグビーの繋がりで入部。水を得た魚のように、グラウンドで飲みで、存在感を高めている。竹村番長の後輩。
■2011年入部

①竹村大先輩に誘われて、即入部を決めました。
②仙台遠征でトライ
③浜田さん
④長くプレーできますように。

87米吉修一　FW

元バレーボール選手が、紺パンにして、楕円球に挑戦。米谷選手と「米米倶楽部」を結成し、初トライを目指して、練習に力がこもる。
■2011年入部

①芦辺キャップテンや田中マグマ大使に誘われ、初参加しましたが、まさかこの歳になって初めてのラグビーをするとは思っていませんでした。③練習前に、オーバー40のメンバー（大の大人）が外部の人に怒られていた事。④浅野屋の娘の声！
⑤ゴールライン前のモール状態からわずかなスペース！迷わずダッシュで走り抜けトライ！（ピッピッピッピッ）？？？？？？何？あ～夢だったか！まさにラグビーに関する夢（違うか～！）

88長尾真生　FL/LO

ひた向きにボールに絡み、果敢に突破する。走力でもチームに貢献する。水戸出身だけに、納豆のような粘りが身上。
■2009年入部

①最初の参加は、真夏の極めて暑い日で、熱い方々との練習で、熱苦しかったのを覚えてます。
③出来事ではないけど、チームの特色ですが、小久保さんのBGM、ではなくBGT（バックグランドトーク）
④純と蛍がいそうであまりにおいしすぎる、鈴木さん
⑤もっと燃えられるモノを見つけて、プレイヤーを円満卒業したい（と何十年も前から夢見ている）

89平山直樹　HO

昨年の仙台遠征で思いがけず、再会。リクルーティングが実り入部。ピッチで激しく燃えるフッカー伝 説、始まる。
■2011年入部

①学生にスクラムで仰向けにされたのが悔しい記憶です。
②まだありません。中一からやってきてまだ生涯2トライです。
③昨年船岡自衛隊Gで偶然お会いしたときの、「やりきった」感の漂う坂崎さんの笑顔を覚えています。　④やはり鈴木良さん。元・別チームジャーマネとしては、浜田さん・高田のりさんのきめ細かなお仕事ぶり。　⑤相手の密集サイド攻撃を、タックルしてゲインを切らせず止めまくりターンオーバー、大きく展開してウイングがトライ、という教科書のようなパターンを成し遂げること。

①デビュー戦や初練習の思い出等　②トライ　③印象に残る出来事　④インパクトのあった人物　⑤ラグビーに関する夢等

アンケートへの回答

90米谷英彦　バックス

坂崎さんのお導きのもと(笑)、山梨遠征からチームに参加。有力チームからも狙われていたが、リクルーティングが功を奏し入部。

■2011年入部

①山梨遠征でデビュー戦となりました。
綺麗なグラウンドに感動です。大阪は、土ばかりで…
②まだトライは無いです。次回は狙います。
③山梨遠征でのアフターファンクション、での部歌熱唱
④小久保さん。山梨遠征中の車内からよく喋る人だなぁ～と、お陰様で初めての参加でしたが緊張感がほぐれました。
⑤生涯現役

91中森浩之　FW

海運業界の繋がりで、練習に参加し、即入部。既に仙台遠征、川越戦にも出場。船乗りらしい豪快なプレーに、熱い期待が集まる。

■2011年入部

①体力のダウンを痛感し、目の前のラックをことごとく傍観してしまったこと。②僕自身はまだありません。が、川越ファイターズ戦一本目の石田さんのトライには、燃えました。 ③仙台遠征時の前日、焼肉を食べた一時間後にラーメンを食べに行った事。とても食べれなかったのでキャバクラに逃げてしまった。
④田中　仁さん。初めてお会いした時に、ムテッポーズ創部からいらっしゃるように見えたですが、まだ一年ということで驚きました。

92熊谷英徳　WTB/FB

数年前に対戦したチームに所属していたが、仙台遠征等への参加を経て、来季より入部。陸上マスターズでも記録を残す、快速バックス。

■2011年入部

①夏にFBでデビューしました。蹴られたボールをキャッチしてカウンターを仕掛けたのに、相手にもぎ取られて独走トライされた悔しさが残っています。 ②仙台で絶好のチャンスでノッコン。まだです。 ③ミスしても、やさしい言葉をかけて、奮起を促してくれること。 ④鈴木さん。数年前相手チームで対戦した際、強烈なハンドオフを貰いました。 ⑤素人から25歳で始めたので、まだまだ素人(発展途上)と思っています。このまま、走力を維持して70代でも快足バックスと呼ばれたいですね。

93岩切新太　FW

海運リーグ等で活躍した若手も、妻を娶り、子をもうけて、はや30代後半。豪快なプレーが、チームの重要な戦力となる。

■2011年入部

①今年11月入部ですが、SDの時より一緒に練習させていただきました。
②SDの時に助っ人で通算2トライ！
③当たりの練習で島雄監督にいつも全力で受け止めていただいたこと
④いつも気遣いしてくださる浜田さん
⑤細く長く赤パン着るまで続けること

94藤岡拓夫　FW

チーム草創期の若手も、いまや不惑直前。海運業界の繋がりで、島雄監督が再発掘し、正式入部。ピッチを動物的に動き回る。

■2011年入部

かつて、島雄監督をして、
「藤岡君は、ミニ・ボブサップみたいだね」と言わしめた動きが、
これから楽しみ。

高田佳子

高田照之夫人。いつも笑顔でデジカメ撮影を引き受けていただくなど、チームにとって欠 かせない戦力に、一同感謝。

これからも、
よろしくお願いいたします。
一同、礼。

ＯＢ諸兄の中から、いまもチームとの繋がりが強い伝説の方をご紹介します。

37早川松若　CTB
川崎汽船ラグビー部出身。誰よりも早くグラウンドも現れ、黙々と走り、試合では、「ショーブ！」と掛け声でビッグゲイン。凄い突破力は、いまでも語り草。　　■2003年入部

38佐々木哲夫　FL/NO8
堂下選手の繋がり。寝屋川クラブ出身。チームに関西人脈が広がる先駆けとなり、「わては、セブンエースの哲ちゃんや」が口癖。グラウンドの部、夜の部ともに大活躍。■2003年入部

ムテッポーズの背番号は、最新の部員が94番。
もうすぐ100番に届きます。これまでの部員の方には、
転勤や海外赴任などの都合などで、グラウンドから
遠ざかっている方も多数おられますが、
「また、ラグビーがしたいな」というお気持ちが、
沸々と湧いてきたら、また、グラウンドにお越しください。

本日のパーティーでは、久しぶりに顔を出される方も
おられますが、誌面と準備と画像など資料の都合上、
ご紹介することができませんでした。
この場をお借りして、お詫び申し上げます。

また、参加される時は、ご一報ください。
そして、新しい仲間もお連れください。

hamada@cent-rs.com

2011年度　ムテッポーズ幹部

監督	島雄節彦
主将	芦辺多津治
副将・創部10年企画実行委員長	白井雅幸
主務	浜田彰大
副務	高田仁寿
会計	尾崎剛史
チーム委員	今村剛
	宇野信行
	石毛和典
	小久保新史
	竹村一郎
	光山昌伺
	石田英教
パーティー映像制作@イメージ	坂崎孝浩
パーティー映像制作@試合	中村剛士
パーティー号外制作	天野豊文

編集後記

ムテッポーズ創部10年。チームが10年の歴史を刻んだということは、メンバーもそれぞれに10年の齢を重ねたことになります。 皆さま！どんな10年でしたか？成果があり、失敗があり、出会いがあり、別れがあり、その中でムテッポーズに参加されたのでしょうか。私自身、ほんとうにいろいろなことがあり、文字通り、七転八倒の10 年でした。ムテッポーズがなかったら、週末もバリバリ仕事して、まっとうな社会人になっていたかもしれません。なんて、あらへん。

この10年の経験をフルに発揮して、素晴らしい次の10年にしようと思います。（この原稿は、勤務先に向かう電車の中、スマホで下書きしました。石毛さんへの締切がギリギリだぁ。なんか、10年前もドタバタしていたなぁ。）

＊本10年誌の記載に関するご質問ご指摘などは、編集担当の浜田彰大にお問合せください。

hamada@cent-rs.com

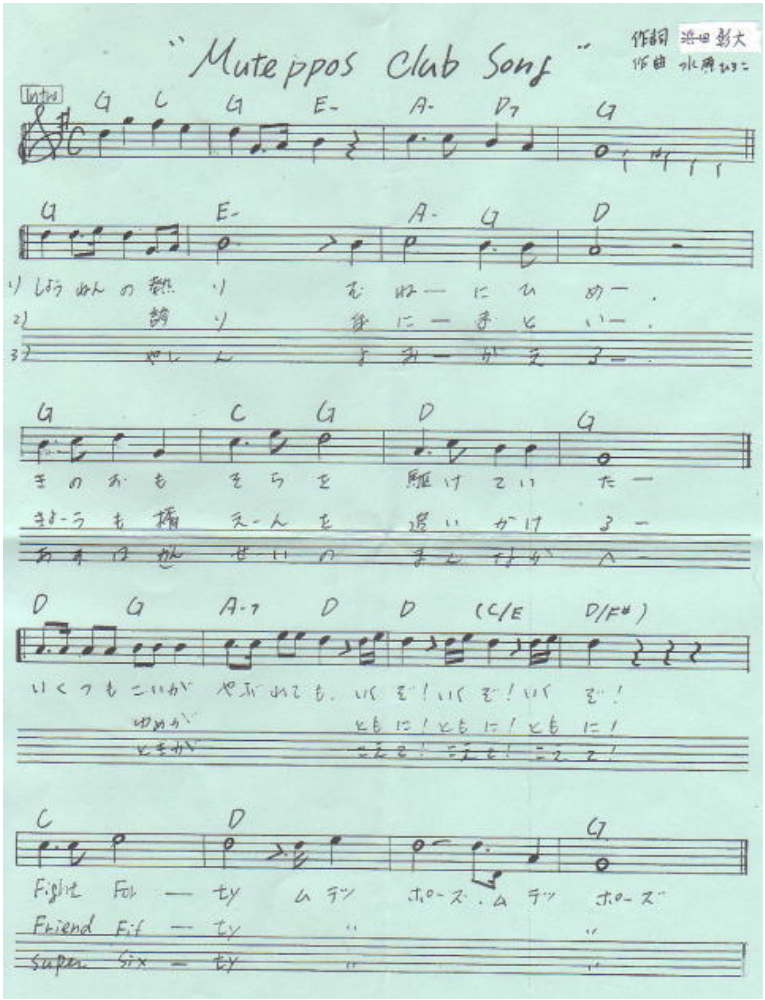
ムテッポーズ　クラブソング

作詞：浜田彰大　作曲：水原ひろこ

少年の熱り　胸に秘め　昨日も空を駆けていた
いくつも恋が破れても　ともに　ともに　ともに
Fight Forty　Muteppos!　Muteppos!

少年の誇り　身にまとい　今日も楕円を追いかける
いくつも夢が破れても　ともに　ともに　ともに
Friend! Fifty　Muteppos!　Muteppos!

少年の野心　よみがえる　明日は歓声のまんなかへ
いくつも時が破れても　こえて　こえて　こえて
Super Sixty　Muteppos!　Muteppos!



ムテッポーズ10年誌

発行日：2011年11月27日
発行人：創部10年企画実行委員会
編集人：浜田彰大（文責）